

# Cisco Nexus シリーズ スイッチはエージェント コンテナ コード 実行脆弱性を開きます

Medium	アドバイザーID : cisco-sa-20171129-nxos9	<a href="#">CVE-2017-12342</a>
	初公開日 : 2017-11-29 16:00	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : <a href="#">6.8</a>	
	回避策 : No workarounds available	
	Cisco バグ ID : <a href="#">CSCve53542</a> <a href="#">CSCvf36621</a>	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Nexus シリーズ スイッチの開いたエージェント コンテナ ( OAC ) 機能の脆弱性は非認証の、ローカル攻撃者が OAC の範囲外でパケットを読み、送信することを可能にする可能性があります。

脆弱性は OAC 機能の不十分な内部 保全安全対策が原因です。攻撃者はデバイス内部 ネットワークの通信のための特定のパケットの細工によってこの脆弱性を不正利用する可能性があります。正常なエクスプロイトは攻撃者が根本的なホスト オペレーティング システムのコードを実行することを可能にする可能性があります。

OAC はデフォルトで有効になりません。脆弱であるデバイスに関しては管理者はこの機能をインストールし、アクティブにする必要があります。

この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20171129-nxos9>

## 該当製品

### 脆弱性のある製品

この脆弱性は次の Cisco Nexus シリーズ スイッチに影響を与えます:

- Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ
- Nexus 5000 シリーズ スイッチ
- Nexus 5500 プラットフォーム スイッチ
- Nexus 5600 プラットフォーム スイッチ
- Nexus 6000 シリーズ スイッチ
- Nexus 7000 シリーズ スイッチ
- Nexus 7700 シリーズ スイッチ

該当するリリースについての情報に関しては、このアドバイザリの上で Cisco バグ ID を参照して下さい。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

シスコは、この脆弱性が以下のシスコ製品には影響を与えないことを確認しました。

- Firepower 2100 シリーズ
- Firepower 4100 シリーズ次世代ファイアウォール
- Firepower 9300 セキュリティ アプライアンス
- マルチレイヤ ディレクタ スイッチ
- Nexus 1000V シリーズ スイッチ
- Nexus 3000 シリーズ スイッチ
- Nexus 3500 プラットフォーム スイッチ
- シスコ アプリケーション セントリック インフラストラクチャ ( ACI ) モードの Nexus 9000 シリーズ ファブリックスイッチ
- スタンドアロン NX-OS モードの Nexus 9000 シリーズ スイッチ
- Nexus 9500 R シリーズ ラインカードおよびファブリック モジュール
- Unified Computing System マネージャ

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

修正済みソフトウェアリリースについての情報に関しては、このアドバイザリの上で Cisco バグ ID を参照して下さい。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[Cisco Security Advisories and Alerts ページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。 不明な点については、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは

契約しているメンテナンス プロバイダーにお問い合わせください。

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

## 出典

本脆弱性は、シスコ内部でのセキュリティ テストによって発見されました。

## URL

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20171129-nxos9>

## 改訂履歴

Version	Description	Section	Status	日付
1.0	初回公開リリース		Final	2017-November-29

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。